

賑わった「第9回さむかわ文化ふれあいデー」

文連だより 第32号

発行
令和5年8月10日
寒川町文化連盟
会長 田中秀昭
神奈川県寒川町会見2101-20
0467-75-7745

第9回さむかわ文化ふれあいデー特集



寒川町文化連盟
会長 田中 秀昭

「第9回さむかわ文化ふれあいデー」は、4年振りに令和5年7月22日（土）寒川町民センターで開催しました。コロナ禍のため、3年間の空白があり、このイベントを以前に増して、知らしめ、盛り上げるため、従来の「青少年文化ふれあいデー」を青少年に限らず、誰でも参加、体験、楽しめる夏の文化祭「さむかわ文化ふれあいデー」と改め開催することにしました。

このイベントは、文化連盟傘下の会員が地域の先生役として、寒川文化のふれあい・継承を願って企画運営をしています。

内容も、文化連盟傘下団体（会員）の知恵と工夫を凝らした催し、恒例の「メダカ・風船のプレゼント」、「小学生以下児童へのお土産」に加え「ミニ鉄道の運行（乗れます）」「夏の花の原価販売」の企画を用意しました。またPR（広報）もポスター、広報「さむかわいい」・子供向け情報誌「すきっぴ」掲載に加え「タウンニュース」にも掲載依頼（2023. 6. 23（金）号掲載、案内状（ポストカード）配布に拠る口コミと宣伝を行いました。➡

当日の「第9回さむかわ文化ふれあいデー」には多くの来場者があり、特に親子連れの参加が目立ち、短歌・日本舞踊（盆踊り）・盆栽・書道（筆で遊ぶ）・音楽演奏（ハーモニカ合奏）（正しい発声法）・囲碁（どんなゲーム？）・写真展（サイズ2L）・歌謡連盟（パネル展示）等のコーナー、ブースを巡り、「見る・知る・体験する」を実践、楽しんでいる様子が見られました。特に、恒例の「メダカの配布」は大人気で、親子の触れ合い見られ、「バルーンアート」にも多くの子供達が3人のバルーン作りに集まり、300個全て配布されました。

今回初めての企画で、役場中庭に約30m「ミニ鉄道」（全て手製）の走行は、大人も乗れ、何回も乗る子供もおり、炎天下の中、運行は切れ目なく大忙しでした。今回の目玉的存在となりました。

その他「お茶コーナー」、「飴の配布」、「お土産：ミニかつば海老せん」は、用意した分が無くなる状況でした。

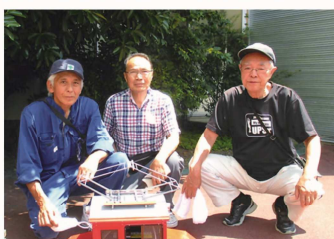
お陰様で来場者は、延975名（ミニ鉄道は208名）を数え、大賑わいでした。

終りに、この暑い日の中、イベントに携わって頂いた関係者の皆様、特に炎天下の「ミニ鉄道」に関わった方々には深く感謝申し上げます。

ミニ鉄道

「ふれあいデー」の知名度と参加者を喚起のため、町役場の中庭に「ミニ鉄道」を走らせた。主旨に賛同の藤沢市在住の桜井さんに快諾して頂き企画が成立し、多くの親子が次々に乗車を楽しんだり、スマホに収めたりで、絆を深めていた。

来場者状況 乗客 208名



ミニ鉄道スタッフの皆さん
左、ミニ鉄道を設計、製作した桜井さん。

広報関係

下記は参加団体と内容を表したポストカード
文化連盟会員はもとより、新たに「寒川町社会福祉協議会」にお願いしPR範囲を広げる活動ができた。また、「タウンニュース」にも写真展の公募と併行して記事掲載をして頂いた。その他、町広報「さむかわいい」、すきっぴ町LINEに扱って頂いた。



ミニ鉄道を中心に
参加団体の催物を
デザインした
ポストカード
➡



夏の草花の原価販売



夏の草花の（原価）販売
全鉢、完売しました。

受付



児童にお菓子を
プレゼント。
配布数 131個



準備段階（販売前）

バルーンアート

子供達に人気のバルーン（風船）、第4回ふれあいデーから会場を盛り上げてくれている、今回は児童の参加が目立ち、急遽助っ人をお願いするなど300個の風船を作制・配布し参加者に喜んで頂いた。



バルーンアートコーナー



人気作品の傾向は熟知、今年は15から16種類のバリエーションを準備。



左から
助っ人の星さん
池田さん
吉田さん



会場の盛況を表す様子



